



CHAPTER 11

Subscriber Manager の GUI ツールの使用方法

はじめに

この章では、Subscriber Manager (SM) の GUI ツールを使用して、Cisco Service Control Management Suite (SCMS) Subscriber Manager (SM) データベースでサブスクリバを設定する方法について説明します。

SM GUI ツールは、SCMS-SM がサブスクリバのスタティック リストを維持している場合、特に便利です。Cisco Service Control Application for Broadband (SCA BB) がサブスクリバレス モード (グローバル プラットフォームを解決するときだけ制御および分析モードを使用できるモード) または アノニマス サブスクリバ モード (IP アドレスまたは Virtual LAN (VLAN; 仮想 LAN) として定義されるエンティティがサブスクリバとして処理されるモード) で動作する場合には該当しません。

- 「SM GUI ツールの使用」(P.11-1)
- 「サブスクリバ CSV ファイルの処理」(P.11-5)
- 「サブスクリバの管理」(P.11-6)

SM GUI ツールの使用

SM GUI ツールでは、SCMS-SM でサブスクリバを管理できます。SCMS-SM は、Operational Support System (OSS; オペレーション サポート システム) プラットフォームと Service Control Engine (SCE) プラットフォームの間を橋渡しするミドルウェア ソフトウェアとして機能します。SCE プラットフォームはサブスクリバ情報を使用して、サブスクリバウェア機能、サブスクリバ単位のレポート作成、およびポリシー適用を行います。サブスクリバ情報は SCMS-SM データベースに格納され、実際のサブスクリバ配置に従って、複数のプラットフォーム間で配信できます。

SM GUI ツールを使用してサブスクリバ ファイルのインポートとエクスポートを行ったり、新しいサブスクリバの追加、既存サブスクリバのパラメータの編集、サブスクリバの削除というような各サブスクリバの操作を行ったりすることができます。



(注) SM GUI ツールから SCMS-SM にアクセスするには、Network Navigator ツールの [Site Manager] ツリーに SCMS-SM を追加する必要があります (「[サイトへの SM デバイスの追加方法](#)」(P.5-4) を参照)。

SM GUI ツールでは、SM コマンドライン ユーティリティが提供する機能の一部しか提供されません。SCMS-SM の詳細については、『Cisco Service Control Management Suite Subscriber Manager User Guide』を参照してください。

SCMS-SM への接続

SCMS-SM には次のように接続できます。

- Network Navigator ツールから
- Console のあらゆる場所から
- Subscriber Manager の GUI ツールから



(注)

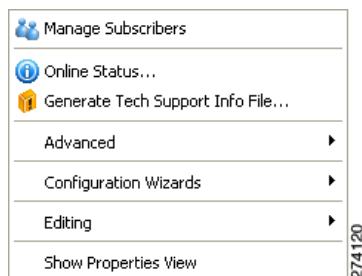
SM GUI ツールは、ポート 14374 への PRPC 接続を開き、[Password Management] ダイアログボックスに入力されたユーザ名とパスワードを使用してログインを試行することで、SCMS-SM での認証を実行します。このユーザを含む PRPC サーバが SCMS-SM で動作していない場合、認証はエラーになります。

SCMS-SM で PRPC ポートを変更した場合は、「ユーザ認証」(P.5-36) を参照してください。

Network Navigator から SCMS-SM への接続

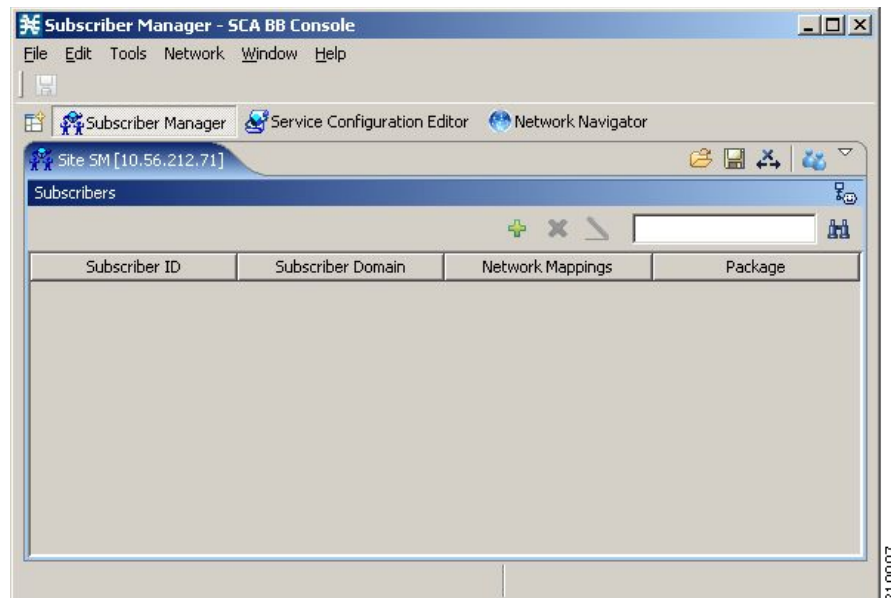
- ステップ 1** [Network Navigator] タブの [Site Manager] ツリーで SM デバイスを右クリックします。ポップアップメニューが表示されます (図 11-1)。

図 11-1 SM デバイス ポップアップメニュー



- ステップ 2** メニューから [Manage Subscribers] を選択します。
[Password Management] ダイアログボックスが表示されます。
- ステップ 3** 適切なパスワードを入力します (詳細については、「パスワード管理」(P.5-7) を参照してください)。
- ステップ 4** [Connecting] をクリックします。
[Password Management] ダイアログボックスが閉じます。
接続の経過表示バーが表示されます。
システムが SCMS-SM に接続します。
([Import subscribers from CSV file])、([Export subscribers to CSV file])、および ([Disconnect from SM]) が有効になります (図 11-2)。

図 11-2 Subscriber Manager



Console から SCMS-SM への接続



(注) (SM GUI ツールがすでに表示されている場合は、ステップ 3 から始めます)

- ステップ 1** Console のメインメニューで、[Tools] > [Subscriber Manager] の順に選択します。SM GUI ツールが開きます。Subscriber Manager が接続されていないというメッセージが表示されます (図 11-3)。

図 11-3 Subscriber Manager が接続されていないというメッセージ




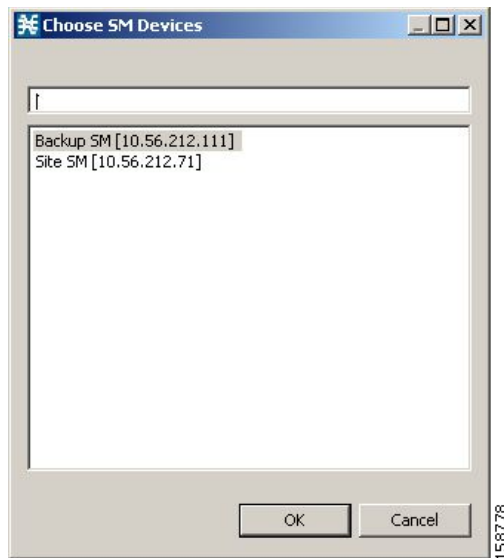
- ステップ 2** [OK] をクリックします。Subscriber Manager が接続されていないというメッセージが閉じます。
- ステップ 3** SM GUI ツールバーで  ([Connect to an SM]) をクリックします。複数の SCMS-SM デバイスを Network Navigator で設定している場合は、[Choose SM Devices] ダイアログボックスが表示されます (図 11-4)。

図 11-4 [Choose SM Devices]



ステップ 4 デバイスを選択して [OK] をクリックします。

[Password Management] ダイアログボックスが表示されます。

ステップ 5 適切なパスワードを入力します（詳細については、「パスワード管理」(P.5-7) を参照してください)。

ステップ 6 [Connecting] をクリックします。


[Password Management] ダイアログボックスが閉じます。

接続の経過表示バーが表示されます。




システムが SCMS-SM に接続します。

 ([Import subscribers from CSV file])、 ([Export subscribers to CSV file])、および  ([Disconnect from SM]) が有効になります。

現在の SCMS-SM からの切断

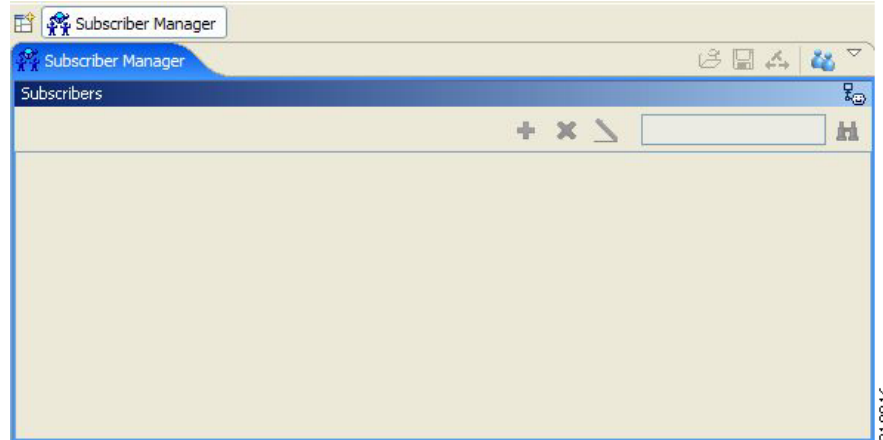
ステップ 1 SM GUI ツールバーで  ([Disconnect from SM]) をクリックします。

Console が SCMS-SM から切断しますが、SM GUI ツールは開いたまま残ります。

 ([Import subscribers from CSV file])、 ([Export subscribers to CSV file])、および  ([Disconnect from SM]) が無効になります。

サブスクライバリストは空になります (図 11-5)。

図 11-5 Subscriber Manager リスト



サブスクリイバ CSV ファイルの処理

システムに導入する必要があるサブスクリイバ数が多いため、サブスクリイバ情報を手動で入力するのは適切ではありません。通常は、RADIUS サーバや同様な送信元でサブスクリイバ情報を生成してから、SM GUI ツールにインポートします。

更新したサブスクリイバ情報を CSV ファイルにエクスポートすることもできます。

サブスクリイバ CSV ファイルの形式については、『Cisco Service Control Application for Broadband Reference Guide』の「CSV File Formats」の章を参照してください。

- 「CSV ファイルからのサブスクリイバ情報のインポート」 (P.11-5)
- 「CSV ファイルへのサブスクリイバ情報のエクスポート」 (P.11-6)

CSV ファイルからのサブスクリイバ情報のインポート

CSV ファイルにエクスポートされたサブスクリイバデータを SM GUI ツールにインポートできます。


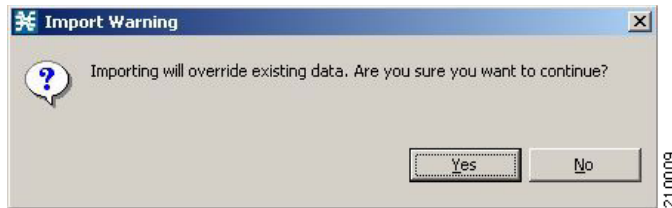
- ステップ 1** SM GUI ツールバーの  ([Import subscribers from CSV file]) をクリックします。
[Import from File] ダイアログボックスが表示されます。
- ステップ 2** インポートするファイルを選択し、[Open] をクリックします。
[Import Warning] メッセージが表示されます (図 11-6)。

図 11-6 [Import Warning]



ステップ 3 [Yes] をクリックします。


[Import from File] ダイアログボックスが閉じます。

選択したファイルが SM GUI ツールにインポートされ、インポートされたサブスクリイバがサブスクリイバリストにリスト表示されます。

CSV ファイルへのサブスクリイバ情報のエクスポート

サブスクリイバ情報を CSV ファイルにエクスポートできます (たとえば SCMS-SM データベースのデータを更新した場合など)。

ステップ 1 データを保存するサブスクリイバを選択します (「サブスクリイバの選択」(P.11-8) を参照)。

ステップ 2 SM ツールバーの  ([Export subscribers to CSV file]) をクリックします。

[Export to File] ダイアログボックスが表示されます。

ステップ 3 エクスポート ファイルを保存するフォルダを選択します。

ステップ 4 [File name] フィールドにファイル名を入力します。

ステップ 5 [Save] をクリックします。

[Export to File] ダイアログボックスが閉じます。

選択したサブスクリイバが CSV ファイルに保存されます。

サブスクリイバの管理

サブスクリイバをシステムにインポートしたら、データベースの保守および更新を行うことができます。

次の操作を実行できます。

- サブスクリイバの追加
- 既存サブスクリイバの情報の編集
- サブスクリイバの削除

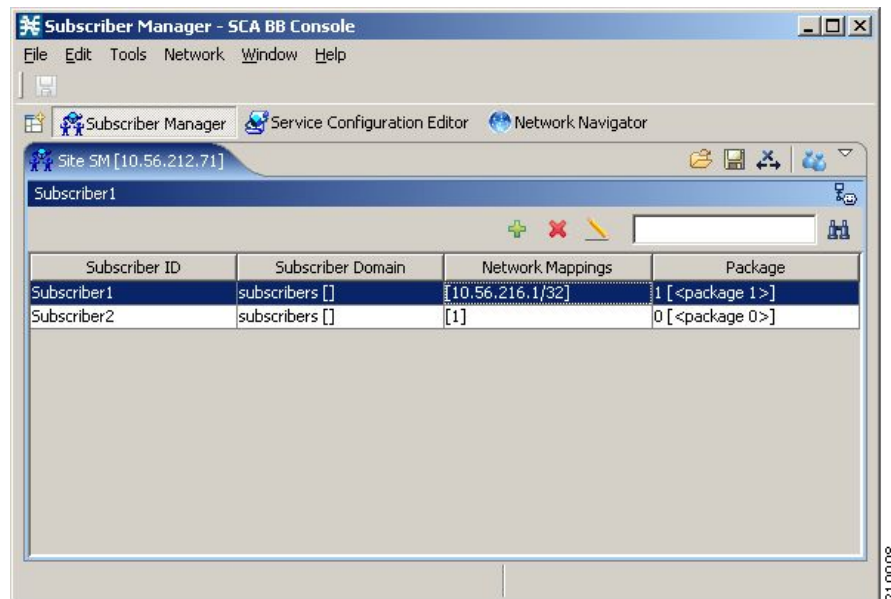
サブスクリバ情報

SCA BB に現在導入されているすべてのサブスクリバは、SM GUI ツールのリストに表示されます (図 11-7 を参照)。それぞれのサブスクリバまたはサブスクリバのグループを管理するには、このリストを使用します。サブスクリバのサブセットを表示するには検索機能を使用します (「サブスクリバまたはサブスクリバグループの検索」(P.11-8) を参照)。

サブスクリバ リストには次のカラムがあります。

- [Subscriber ID] : システムにおけるサブスクリバの名前。
- [Subscriber Domain] : サブスクリバに割り当てられているドメイン。各ドメインに属する SCE プラットフォームの名前は角カッコ内に表示されます。
- [Network Mappings] : サブスクリバにマッピングされた IP アドレス、IP アドレス範囲、または VLAN タグ。
- [Package] : サブスクリバに割り当てられたパッケージ ID。パッケージの名前は角カッコ内に表示されます。

図 11-7 Subscriber Manager : サブスクリバリスト



800012

サブスクリバの検索および選択

使いやすいように、SM GUI ツールには次の 2 つの標準機能が組み込まれています。

- 検索 : 特定のサブスクリバを検索します。
- 多重選択 : サブスクリバの範囲または複数のサブスクリバを選択します。


サブスクライバまたはサブスクライバグループの検索

この機能は、サブスクライバ ID プレフィクスに従って特定のサブスクライバまたはサブスクライバグループを検索する場合に使用します。特定サブスクライバまたはサブスクライバのグループのパラメータを修正する場合に便利です（「[サブスクライバの詳細編集](#)」(P.11-11) を参照）。

ステップ 1 照合するプレフィクスを [Find] フィールド (図 11-8) に入力します。

図 11-8 [Find] フィールド



ステップ 2  ([Find Subscribers]) をクリックします。

指定したプレフィクスと一致するサブスクライバだけが、サブスクライバリストに表示されます。

サブスクライバの選択

サブスクライバリストに表示されているサブスクライバを選択し、サブスクライバのグループを同時に編集、エクスポート、削除できます。選択できるサブスクライバグループは、次のいずれかです。

- 連続する一連のサブスクライバ
- 連続しない一連のサブスクライバ
- 「[サブスクライバ範囲の選択](#)」(P.11-8)
- 「[連続しない複数のサブスクライバの選択](#)」(P.11-8)

サブスクライバ範囲の選択

ステップ 1 範囲の先頭のサブスクライバを選択します。

ステップ 2 **Shift** キーを押した状態で、範囲の最後のサブスクライバをクリックします。

範囲内のすべてのサブスクライバが選択されます。

この機能を検索機能と組み合わせて、特定サブスクライバを検索して表示してから、範囲全体を選択できます。

連続しない複数のサブスクライバの選択

ステップ 1 **Ctrl** キーを押した状態でサブスクライバを選択します。

一連のサブスクライバを選択する機能とこの機能を組み合わせて、一連のサブスクライバを選択してから別のサブスクライバを選択できます。

サブスクリバの追加

それぞれのサブスクリバを SCMS-SM に追加できます。

多数のサブスクリバを追加するには、RADIUS（または Dynamic Host Configuration Protocol (DHCP; ダイナミック ホスト コンフィギュレーション プロトコル)）サーバから CSV ファイルに情報をエクスポートしたあと、その CSV ファイルをインポートします（「サブスクリバ CSV ファイルの処理」(P.11-5) を参照）。


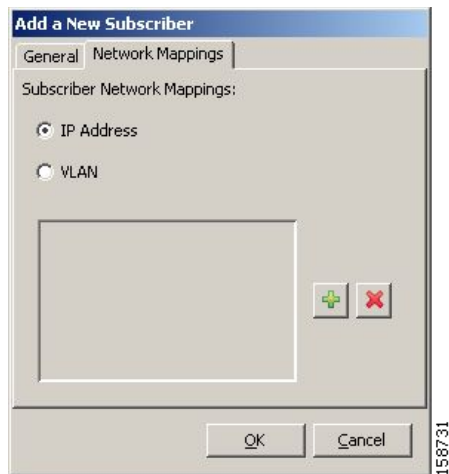
- ステップ 1** SM ツールバーの  ([Add Subscriber]) をクリックします。
[Add A New Subscriber] ダイアログボックスが表示されます (図 11-9)。

図 11-9 [Add a New Subscriber]



- ステップ 2** サブスクリバを識別するテキストを [Subscriber ID] フィールドに入力します。
- ステップ 3** 新しいサブスクリバに適したドメインを [Subscriber Domain] ドロップダウン リストから選択します。
- ステップ 4** [Subscriber Package] ドロップダウン リストで、このサブスクリバに割り当てるパッケージを選択します。
リストの内容は、選択したサブスクリバ ドメインによって決まります。
- ステップ 5** サブスクリバのリアルタイム モニタを有効にするには、[Activate Subscriber Real-time Monitoring] チェックボックスをオンにします。SCE アプリケーションは、このサブスクリバの Real-Time Subscriber Usage RDR を生成します。
このサブスクリバのネットワーク マッピングを定義しない場合は、ステップ 11 に進みます。
- ステップ 6** [Network Mappings] タブをクリックします。
[Network Mappings] タブが開きます (図 11-10)。

図 11-10 [Network Mappings] タブ



サブスクリバのネットワーク ID として、IP アドレスまたは VLAN タグがサポートされています。

ステップ 7 [Subscriber Network Mappings] オプション ボタンのうちいずれかを選択します。

- [IP Address]
- [VLAN]

ステップ 8 前のステップで選択したタイプのネットワーク マッピングを追加するには、**+** ([Add]) をクリックします。新しいネットワーク マッピング エントリがサブスクリバ ネットワーク マッピング リストに追加され、デフォルト値が表示されます (図 11-11)。

ステップ 9 ネットワーク マッピング エントリを編集します。

図 11-11 ネットワーク マッピングのデフォルト値



ステップ 10 その他のネットワーク マッピングについて、ステップ 8 および 9 を繰り返します。

ステップ 11 [OK] をクリックします。

[Add A New Subscriber] ダイアログボックスが閉じます。

新しいサブスクリバが、データベース、および SM GUI ツールに表示されるサブスクリバ リストに追加されます。

サブスクリバの詳細編集

単一サブスクリバまたは複数サブスクリバを編集できます。

- 「単一サブスクリバの詳細編集」(P.11-11)
- 「サブスクリバグループの詳細編集」(P.11-12)

単一サブスクリバの詳細編集


- ステップ 1** サブスクリバを検索し、選択します（「サブスクリバまたはサブスクリバグループの検索」(P.11-8) を参照）。
- ステップ 2** SM ツールバーの  ([Edit Subscriber]) をクリックします。
[Edit Subscriber] ダイアログボックスが表示されます（図 11-12）。

図 11-12 [Edit Subscriber]



- ステップ 3** サブスクリバの詳細を次のように修正します。
- [Subscriber ID] フィールドのエントリを編集します。
 - [Subscriber Domain] ドロップダウンリストで、サブスクリバドメインを選択します。
 - [Subscriber Package] ドロップダウンリストで、このサブスクリバに割り当てるパッケージを選択します。
リストの内容は、選択したサブスクリバドメインによって決まります。
 - [Activate Subscriber Real-time Monitoring] チェックボックスをオンまたはオフにします。
このサブスクリバのネットワーク マッピングを編集しない場合は、ステップ 6 に進みます。
- ステップ 4** [Network Mappings] タブをクリックします。
[Network Mappings] タブが開きます（図 11-13）。

図 11-13 [Network Mappings] タブ



ステップ 5 サブスクリバのネットワーク マッピングを次のように修正します。

- a. [Subscriber Network Mappings] オプション ボタンのうちいずれかを選択します。
 - [IP Address]
 - [VLAN]
- b. 新しいネットワーク マッピングをリストに追加するには、**+** ([Add]) をクリックし、[Subscriber Network Mappings] リストに追加するネットワーク マッピングのフィールドを編集します。
- c. ネットワーク マッピングをリストから削除するには、サブスクリバのネットワーク マッピングのリストからエントリを選択して **-** ([Delete]) をクリックします。

ステップ 6 [Apply] をクリックします。

[Edit Subscriber] ダイアログボックスが閉じます。

修正したサブスクリバ情報がデータベースに保存され、SM GUI ツールのサブスクリバリストに表示されます。

サブスクリバグループの詳細編集

同一パッケージまたはドメインを多くのサブスクリバに同時に割り当てることができます。

ステップ 1 修正するサブスクリバのグループを選択します (「サブスクリバの選択」(P.11-8) を参照)。

ステップ 2 SM ツールバーの  ([Edit]) をクリックします。

[Edit Multiple Subscribers] ダイアログボックスが表示されます (図 11-14)。

図 11-14 [Edit Multiple Subscribers]



[Subscriber ID] フィールドおよび [Network Mappings] タブは使用できません。

ステップ 3 [General] タブのフィールドを修正します。

- [Subscriber Domain] ドロップダウン リストで、サブスクリバ ドメインを選択します。
- [Subscriber Package] ドロップダウン リストで、このサブスクリバに割り当てるパッケージを選択します。

リストの内容は、選択したサブスクリバ ドメインによって決まります。

- [Activate Subscriber Real-time Monitoring] チェックボックスをオンまたはオフにします。

ステップ 4 [Apply] をクリックします。


[Edit multiple Subscribers] ダイアログボックスが閉じます。

修正したサブスクリバ情報がデータベースに保存され、SM GUI ツールのサブスクリバ リストに表示されます。

データベースからのサブスクリバの削除

サブスクリバは、データベースから削除できます。

ステップ 1 単一サブスクリバまたはサブスクリバのグループを選択します（「サブスクリバの選択」(P.11-8) を参照）。

ステップ 2 SM ツールバーの  ([Delete Subscriber]) をクリックします。

選択したサブスクリバを削除する前に、システムから確認を求められます（図 11-15）。

図 11-15 [Subscriber Warning]



ステップ 3 [Yes] をクリックして確認します。

選択したサブスライバがデータベースから削除され、SM GUI ツールに表示されるサブスライバリストから削除されます。
